

事業コード	H17-建-新-1		区 分	国庫補助 県単独
事業名	都市計画街路事業		部局課室名	建設交通部 都市計画課
事業種別	道路改築		班 名	街路班 (tel) 018-860-2444
路線名等	都市計画道路 太田川口線		担当課長名	本田武志
箇所名	中岱		担当者名	主幹兼班長 有明滋夫
総合計画との関連	政策コード	C	政 策 名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	01	施 策 名	四季を通じて快適な生活環境の確保
	指標コード	03	施策目標(指標)名	都市計画道路整備率

## 1. 事業の概要

事業期間	H18 ~ H21 (4年)		総事業費	7.0億円	国庫補助率	5.5/10	
事業規模	延長L=710m、幅員W=18.0m						
事業の立案に至る背景	<p>本路線は、旧合川町から旧鷹巣町への幹線道路の一部を構成しているため、北秋田市の合併を支援する道路と位置付けられる。また、鷹巣中心部から「あきた北空港」や日沿道「あきた北空港IC(仮)」、移転統合予定の「北秋中央病院(仮)」へのアクセス道路の役割も担う重要な路線である。</p> <p>しかし、現在、県道鷹巣川井堂川線の狭隘による鷹巣中心部における慢性的な交通渋滞の発生、歩道の未整備による通学児童への事故の危険性といった問題が発生しているため、都市計画道路太田川口線を県道鷹巣川井堂川線のバイパス区間として整備を行い、鷹巣中心部の交通円滑化や歩行者の安全確保、北秋田市の合併支援等を図る。</p>						
事業目的	<p>市町村合併の支援(北秋田市)</p> <p>歩行者の安全確保</p> <p>「あきた北空港」及び「あきた北空港IC(仮)」へのアクセス</p> <p>移転統合予定の「北秋中央病院(仮)」へのアクセス</p> <p>鷹巣中心部の交通円滑化</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度以降
	事業費		700,000	50,000	250,000	300,000	100,000
	経費内訳	工事費	367,000			268,000	99,000
		用補費	314,000	32,000	250,000	32,000	
		その他	19,000	18,000			1,000
	財源内訳	国庫補助	385,000	27,500	137,500	165,000	55,000
		県 債	259,000	18,000	92,000	111,000	38,000
その他		42,000	3,000	15,000	18,000	6,000	
一般財源		14,000	1,500	5,500	6,000	1,000	
事業内容		道路改良 L=710m	道路詳細設計 用地測量 用地補償	用地補償	用地補償 改良工	改良工 舗装工 道路台帳	
調査経緯	平成12年度概略調査						
上位計画での位置付け	道路の整備に関するプログラムに位置付けられている。 H17策定の次期あきた21総合計画で位置付ける予定。						
関連プロジェクト等	県道 鷹巣川井堂川線 中岱橋工区の開通(H21開通予定) 都市計画道路 太田川口線 市施工区間の開通(H21開通予定)						
事業を取り巻く情勢の変化	北秋田市の誕生や北秋中央病院(仮)の移転統合に伴い、当該区間の交通量がさらに増加することが予想される。						
事業効率把握の手法	指標名	都市計画道路整備率					
	指標式	整備済延長/都市計画決定延長					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	60%		データ等の出典	都市計画年報		
	達成値 b	48%					
	達成率 b/a	80%		把握の時期	平成17年 3月		

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	鷹巣中心部から高速交通拠点である「あきた北空港」や日沿道「あきた北空港IC(仮)」へのアクセス道路の役割を担う幹線道路である。 歩道の未整備区間があり、通学児童の安全が確保されていない。 鷹巣中心部において交通渋滞が発生している。 県道鷹巣川井堂川線の位置付けがなされるため、県が事業実施するのは妥当である。	28点
緊 急 性	北秋田市の合併を支援する道路である。 現在事業中の県道鷹巣川井堂川線の中岱橋工区と市街路事業の太田川口線が完成すると当工区がボトルネックとなり、渋滞や交通事故の発生が予想される。 緊急輸送路である国道105号の代替路線でもあり、当工区の整備により都市の防災機能の向上が図れる。	15点
有 効 性	「あきた北空港」や日沿道「あきた北空港IC(仮)」へのアクセス改善が図れる。 移転統合予定の「北秋中央病院(仮)」へのアクセス道路となる。 歩道のバリアフリー化による快適な歩行空間の確保が図れる。 「快適で安全な生活を支える環境づくり」の政策目標の整備に関する施策目標である「魅力あるまちづくりの推進」に大きく貢献する。	15点
効 率 性	事業の費用便益比は2以上であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値7億円、総便益の現在価値15億円 工事発注の際に、リサイクル材、プレキャスト製品の使用等、コスト縮減に努めるとともに、地域住民の協力を得ながら維持管理費の削減も検討する。 当該路線の一部が市施工のため、その区間のコストが縮減されて全体の整備が行える。	13点
熟 度	平成10年3月に都市計画決定済み(昭和56年12月当初決定)である。 鷹巣町日沿道・中岱橋早期建設期成同盟会より早期整備の要望書が提出されている。 道路整備満足度アンケート調査において北秋田管内では、「狭い道路の改良」が優先順位1位、「混雑している道路の改良」が6位と上位であり、事業着手には好機である。	10点
判 定	ランク ( ) 優先度がかなり高く、ランク である。	81点
総 合 評 価	選定 改善して選定 保留 各観点の評点結果から、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきと考える。	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定	改善して選定	保留
本路線は、鷹巣中心部の渋滞解消と通学児童の安全確保に加え、「あきた北空港」とのアクセス道路、北秋田市の地域交流の役割を担う重要路線と位置づけられる。北秋田市が行う市街路事業(太田川口線)、県道中岱橋工区の接続する両路線と一体的に整備するものであり、事業実施は妥当と判断される。			

## 4. 財政課長意見

意見内容	選定	改善して選定	保留
当該区間は、中岱橋開通に伴って旧合川町と鷹巣中心部をつなぐ重要な路線の一部となり、交通量が増加することが予想されるが、現道は幅員狭小で歩道がない区間が一部あるなど、整備の必要性は認められる。しかし、予想される通過交通量や周辺住宅の状況等も考慮して、歩道の整備、幅員について必要最小限の整備を行うよう検討すべきである。			

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定	改善して選定	保留
事業の実施は妥当であるが、歩道も含めた道路幅員については再検討を要する。			

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

当該箇所を国に新規要望する。
----------------

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

県の総合評価を可とする。
--------------

評価種別 新規箇所評価  
適用基準名 街路事業

事業コード(H17-建-新-1 )  
箇所名 (中岱 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	都市計画道路の規模及び機能 道路の規模及び分類	主要幹線街路・都市高速道路	5	4	4車線以上かつ幅員2.2m 2車線以上かつ幅員1.6m 2車線かつ幅員1.2m以上 歩道を含む	
		幹線街路	4			
	補助幹線街路	3				
	上記以外の補助幹線街路など	3				
	都市構造上の機能	高速交通拠点と連絡する道路・都心軸道路	5	5		
		都心軸を補完する道路・放射環状道路・バイパス	4			
		その他の道路	3			
	現況道路における問題箇所 (バイパス・新)					
	交通渋滞 (現道混雑度1.0以上)	有り	2	2		
		なし	0			
	主要渋滞ポイント	有り	2	0		
		なし	0			
	狭隘道路 (車道幅5.5m未満)	有り	2	2		
		なし	0			
	線形不良・勾配不良 (道路構造令の基準に達しない道路)	有り	2	0	0	
		なし	0			
	バス路線	有り	2	2		
		なし	0			
	歩行者、自転車の交通量が比較的多い道 (自転車歩行者交通量500人・台以上)	有り	2	2		
なし		0				
歩道や自歩道が無い道路 (規定幅員が確保されていない場合を含む)	有り	2	2			
	なし	0				
現道の事故率50件以上	有り	2	0	0		
	なし	0				
老朽橋梁	有り	2	2			
	なし	0				
通学路指定	有り	2	2			
	なし	0				
県事業としての必要性						
道路法第3条第3号の都道府県道として	有り	5	5	路線認定予定路線を含む		
	なし	0				
計			35	28		
緊急性	関連事業の有無					
	各種プロジェクト支援 (県の主要プロジェクト・地域振興プロ)	有り	1	1		
		なし	0			
	大規模イベント支援 国体・インターハイ・万博など	有り	1	0	0	
		なし	0			
	新規整備の公共施設アクセス 市町村役場・病院・学校・公民館など	有り	1	1		
		なし	0			
	他公共事業関連 (街路事業以外の事業支援)	有り	1	1		
		なし	0			
	住宅宅地開発 (300戸以上又は1.6ha以上)の連絡	有り	1	0	0	
		なし	0			
	上位計画の位置づけ					
	あきた21総合計画 都市計画マスタープラン 渋滞対策プログラム その他関連計画	該当項目2以上	7	7		
		該当項目1	5			
		該当項目0	0			
区間延伸の有無						
既採択工区の区間延伸	可能	3	0	0		
	不可能	0				
防災機能向上への貢献度						
緊急輸送路又は代替え路線 災害避難路 消防活動困難地域の解消路線 密集市街地での延焼遮断帯の役割 電線類地中化計画	該当項目2以上	5	5			
	該当項目1	3				
	該当項目0	0				
計			20	15		
有効性	物流の高度化と交流の円滑化への貢献度					
	高速ICアクセス 港湾・空港アクセス 新幹線駅又は特急停車駅等( )へのア 特急停車駅又は平均乗降客2000人/日 主要な観光地へのアクセス 駅前広場の造成 広域道路整備計画	該当項目2以上	5	5		
		該当項目1	3			
		該当項目0	0			
	市街地の活性化とまちづくりへの貢献度					
	DID区域内の事業 市街地再開発・区画整理等との連携 電線類地中化計画 景観や中心市街地の特色あるまちづくり バリアフリー 周辺景観との調和 道路緑化の推進 3次医療施設・2次医療施設へのアクセ	該当項目2以上	5	5		
		該当項目1	3			
		該当項目0	0			
	県施策目標への貢献度					
	都市計画道路整備率の向上	整備延長500m以上	5	5		
		整備延長200m以上500m未満	4			
		整備延長200m未満	3			
	計			15	15	

評価種別 新規箇所評価  
適用基準名 街路事業

事業コード(H17-建-新-1 )  
箇所名 (中 岱 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
効率性	費用便益比(B / C) 費用便益比(B / C)	3.0 以上	15	10		
		2.5 以上 3.0 未満	12			
		2.0 以上 2.5 未満	10			
		1.5 以上 2.0 未満	8			
		1.0 以上 1.5 未満	5			
		1.0 未満	0			
	計画交通量	10,000台 / 日以上	5	3	3	
		4,000台 / 日以上10,000台 / 日未満	4			
		4,000台 / 日未満	3			
	計			20	13	
熟度	都市計画決定					
	都市計画決定の状況	都市計画決定済み	4	4	平成 年 月都市計画決定	
		都市計画決定予定	2			
	地域のニーズ					
	地域・各種団体等からの要望・陳情・請	有り	3	3		
		なし	0			
	地域の協力体制					
関係市町村や地域住民の協力	有り	3	3			
	なし	0				
計			10	10		
合計			100	81		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上 ~ 80点未満		
	優先度が低い	60点未満		